

令和5年度 **児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）**
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立朝日小学校

体育学習を楽しみ、進んで運動に取り組もうとする児童の育成

<体育の授業について>

- 体育学習を楽しみ、進んで運動に取り組む態度を育てるとともに、児童の実態に応じた場づくりや教材・教具、学習カード、学習形態等の工夫・開発、ICT活用に努める。
- 短期的、長期的なねらいを児童に示し、意欲をもって取り組めるように指導計画をたてる。
- 保健の学習が実生活に生かされるように授業計画を工夫する。
- これまでの体力テストの結果をもとに、握力や柔軟性などの体力向上を図るための運動を継続的に取り入れる。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 体育的行事（体育大会・縄跳び大会等）に合わせた時期に業間体育を行い、体育的行事への児童の意欲を高め、目標をもって取り組めるようにする。
- 「業間体育」では、時間走、縄跳びを実施して定期的に体を動かす機会を確保する。
- 体育館使用計画を作成し、安全に体育館を使って体を動かせる機会を確保する。また鉄棒やなわとびのジャンピングボードを常時設置したり、竹馬や一輪車などを使えたり、いつでも運動に取り組める環境の整備をする。
- 委員会活動と連携し、体力を向上させる取り組みについて子どもたちで考えたことを積極的に取り組んでいく。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- 栄養教諭と連携を図り、定期的に食に関する指導を行う。また、お便りを通し、保護者の児童の健康への関心を高めてもらう。
- 体育大会やマラソン大会、なわとび大会では積極的に参観してもらうようにするなど、開かれた学校づくりを心がける。それらを通して、児童・保護者の運動への取り組みの意識を高める。

令和5年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立常磐小学校

いろいろな運動・競技にチャレンジし、目標をもって粘り強く取り組もう！

<体育の授業について>

- 基礎的な体力や技術の向上を図るため、瞬発力を高めるダッシュ、柔軟性を高めるストレッチ運動、調整力を高める縄跳び等を取り入れていく。また巧みな動きを高めるために用具を使っでの運動や遊びを取り入れる。
- 持久力の記録を伸ばすため、器具を使い、いろんな走り方を伝え、走る楽しさを味わわせる。また、準備運動として体幹運動や走力アップドリルなどを継続して取り入れ、敏捷性も鍛える。
- 目標をもって、一人一人が運動に積極的に取り組めるよう「めあて」「ふり返り」の時間を確保する。
- プール学習時の準備運動として、ラジオ体操に取り組みさせる。リーダーなどが前に立って手本を見せながら行うことにより、正しいラジオ体操の仕方を知り、実践できるようにする。

<特別活動について ※「アクティブワン」を含む>

- アクティブワンの取組みとして、大休みや昼休みに児童たちで全校遊び（鬼ごっこやドッジボール等）を考え、体を動かす遊びを行う。また、積極的に一輪車や竹馬にも取り組みさせるよう呼びかける。
- 業間に一輪車や竹馬に取り組みさせる。達成カードを使い、達成度に応じて級が上がったことやできるようになったことが実感できるようにする。がんばりタイム（業間体育）時に友だち同士でできる技を紹介するなどして児童の意欲を高める。
- 体育大会において、一輪車の発表を取り入れることにより、練習意欲を高める。
- がんばりタイム（業間体育）の時間に、持久走・なわとびなどに取り組みさせる。ふりかえりカードを利用し、年間を通して記録の伸びが分かるようにして意欲をもたせ、その喜びを味わわせる。
- 給食時に、目の体操や歯磨きを全校一斉に取り組む。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- 水泳授業では、民間外部講師を活用し、児童に専門的な指導を受けさせる予定である。
- 授業時は、常に換気を心がける。また道具の使用前後は、手指消毒を行う。

令和5年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立糸生小学校

健康と体力の向上をめざし、チャレンジできる子

<体育の授業について>

- ・タブレット等ICTの活用に積極的に取り組む。自身や友達の動きを確認したり、比較したりできる利点を生かして、自身の改善点の把握や、技能の向上を視覚的に実感できるような授業づくりに取り組む。
- ・指導内容を明確にするために年間指導計画を見直し、高学年への系統性が見えるようにする。それぞれの領域の運動の特性を押さえながら、児童の実態に応じてその競技のおもしろさが実感できるような授業づくりに取り組む。
- ・全校共通の準備運動に取り組み、継続的に補強運動を行うことで、体力の向上、技能の習得を図る。
- ・体育授業担当者が授業内容の共有を行うことで、系統的・段階的に上の学年につながるような授業づくりを進め、確かな知識と技能の定着を図る。
- ・担任と養護教諭が連携し、児童の実態に合わせた保健の学習指導を行う。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- ・晴天時の業間体育で5分間走を行い、個人や縦割り班ごとに目標をもたせ、持久力の向上を図る。
- ・雨天時の業間体育で音楽に合わせてダンスやストレッチに取り組む、楽しみながら柔軟性や巧緻性などの向上を図る。
- ・冬季の業間体育でなわとびに取り組む。学校行事（なわとび大会）と関連させ、縦割り班ごとに、めあてを決め、目標に向かって協力しながら運動に取り組む楽しさが実感できるようにする。
- ・体育委員会が、全校で運動に慣れ親しむことができるような企画を実施する。異学年の交流をとおして、学校全体で楽しみながら運動技能や体力の向上を図っていく。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- ・体育大会は、競技内容を子どもたちが一から考えたものにする。学校、家庭、地域が一体となって取り組み、運動する楽しさを共有できるようなものにする。
- ・外部団体を講師として招いての水泳教室など、専門的な知識や技能にふれることができる出前授業の機会を設定する。プロの実技や指導にふれることで、運動に対する興味や関心を高め、一緒にプレーすることで、知識と技能の習得につなげていく。

令和5年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立宮崎小学校

目標に向かって主体的・継続的に運動に取り組む児童を目指して

<体育の授業について>

- ・学習カードなどを用いて、毎時間の目標設定や振り返りの時間を確保することで、単元全体で身に付けるべき力を児童と共有する。
- ・従来通りの準備運動に加え、運動の特性に合わせたウォーミングアップやコーディネーショントレーニング等を取り入れることで、怪我の予防に努めるとともに、体の使い方を意識できるようにする。
- ・自分の動きを客観的に分析するなど、ICT機器を効果的に活用することで技能の向上を視覚的に実感できるようにする。
- ・保健体育の授業では、養護教諭や外部講師（6年生「薬物乱用の害」での薬剤師など）との連携を図ることで、より具体的な内容理解ができるようにする。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- ・1000m走タイムトライアル（5月）
→5月に1000m走タイムトライアルを行う。全学年が毎年同じ距離を走るため、前年度の自分と比較して取り組むことができる。
 - ・なわとび大会（2月）
→全学年が「持久跳び」と「回数跳び」に取り組む。また、大会で実施する跳び方以外にも挑戦できるように、学年に合わせた「級表カード」にも取り組んでいく。
- 上記の2つについては、全校共通の「がんばりカード」を活用し、個に合った目標設定と振り返りを行う。また、保護者への公開や、保護者からのカードへの励ましのコメントを通して、学校と家庭それぞれが児童の頑張りを称賛できるようにする。
- 本番の約1ヵ月前の昼休みに練習の機会を設ける。ただし、教師主導の強制的な活動にならないよう、運動委員会の児童が様々な工夫を凝らして主催する形をとる。企画側、参加する側がそれぞれ主体的に取り組むことができるようにする。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- ・「いつでも」、「どこでも」体を動かすことができる環境づくり
→竹馬や一輪車を定期的に補充したり、体育館のギャラリーに鉄棒を常設したりすることで、児童が様々な運動に取り組む環境づくりに努める。
- ・自分の生活を見直す「ハッピー週間」
→早寝早起きやメディア時間などの家庭生活を見直す「ハッピー週間」において、「適度な運動ができた」という項目を設ける。毎日の生活の中に、運動が少しでも取り入れられるように働きかけていく。

令和5年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立四ヶ浦小学校

めあてを持ち、運動に意欲的に取り組む児童の育成を目指して。

<体育の授業について>

- ・全学年で準備運動の行い方を統一し、怪我の防止に努める。
- ・体育の授業にめあてをもって取り組ませ、単元を通した自分自身の成長を感じることができるよう、がんばりカードを活用する。（マラソン、なわとび、鉄棒、マット運動など）
- ・保健学習として、養護教諭による生活習慣、歯科指導などを学期ごとに実施する。
- ・小学校6年間を通じた体育での学習を記録できるように、各学年に卒業まで持ち上がる「体育個人ファイル」を導入し、振り返り等を保管できるようにする。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- ・縦割り班での仲良し遊びを学期に1回程度設け、異学年による外遊び、室内遊びを行うことで、運動好きな児童の育成に取り組む。
- ・1回15分の業間体育を週2回設ける。春から秋のマラソン大会までは持久走、マラソン大会から冬季にはなわとびを行う。めあてをもって取り組めるよう指導法を工夫したり、がんばりカードを取り入れたりして、児童が意欲的に取り組めるようにする。
- ・丹生郡陸上交流会に向け、出場学年は9月初旬から走・跳・投の基礎練習をする。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- ・可能な限りコロナ前に戻していきたいと考えているが、現在の所未定である。連携可能な取組みがあれば、積極的に活用していく予定である。

令和5年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立城崎小学校

進んで運動に取り組み、体力を高め、健康な体を目指す

<体育の授業について>

- 準備運動に握力向上のためグーパー体操や、柔軟性の向上のため柔軟運動を取り入れる。
- 児童が目標をもち、意欲的に学習指導に取り組めるように短期的、長期的なめあての提示やふり返りの工夫をする。
- 水泳授業のはじめにラジオ体操を準備運動として取り入れる。
- 養護教諭と連携を図り、年間計画に基づいた保健学習・保健指導をする。
- 身につけさせたい力を意識し、児童主体の学習となるよう、観点を明確にした話し合いや振り返りの場を設定する。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 体育的行事の充実
 - 1学期 運動会（5月） 1～6年水泳教室（6・7月）
 - 2学期 郡陸上交流会（9月） マラソン大会（11月）
 - 3学期 なわとび大会（2月）※5年生は、ニュー・ザ・チャレンジに挑戦する
- 業間運動 毎週火・金 大休み
 - 前期 低学年・・・3分間走（グラウンドトラック）
高学年・・・学校外周3周
 - 後期 全学年・・・縦割り班で短なわの練習
- ・業間運動での自分の頑張りが視覚的に分かり、学習意欲が高まるカードの工夫をする

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取り組み等）>

- 食育の推進
 - ・地域人材を活用し、とうふ作り体験や干物作り体験等を行い、地域の食に理解を深める指導を行う。
- 家庭との連携
 - ・運動会で親子競技を実施し、親子で楽しみながら体を動かし、運動に親しむ。
- コロナ禍での取り組みと工夫
 - ・全校で活動する場合は、学年間の交流を避けるために、場所や時間の割り当てを行う。

令和5年度 **児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）**
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立織田小学校

伸ばそう！おたっ子の力

- ①体力 業間運動（マラソンやなわとび）で体力の向上を図る。
- ②心力 体育的行事を中心に、忍耐力や向上心を育む。
- ③協力 授業でお互いに支え合ったり、縦割り班で協力したりする中で助け合う力を養う。

<体育の授業について>

- 全校体育を行う。
5月下旬より10月までの月2回、全校体育を実施する。体づくり運動（体づくりの運動遊び）の領域を中心に行い、縦割り班で活動していく中で体力の向上や運動に親しめる環境づくりに努める。
- 授業で運動量を確保する。
授業時間を使って友達と関わるような活動を取り入れつつ、運動量の確保に努める。（鬼ごっこやリレー等）
- 衛生的な生活を指導する。
衛生面へ配慮や病気予防のために、換気や手洗いの効果を示すとともに手洗いやうがい の 仕 方 を 指 導 し、徹 底 し 病 気 の 感 染 予 防 に 努 め る。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- いきいきタイム（業間）の取組（週2回火・木）
11月～2月中旬までの冬季期間は、なわとび（短縄・大縄）を行い、持久力の向上や目標に向かって協力していく力を養う。
- OTAタイム（昼休み）の取組
時期を設定して体育委員が企画し、全校での鬼ごっこやリレー、縦割り班対抗のドッジボール大会を実施する等、縦割り班のつながりを深めながら体力の向上を図る。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- OTAっ子体操
コロナ禍で児童の運動不足が懸念される中、準備体操と体づくり運動として短時間でできる体操を考えた。体育科の授業や機会を見付けて取り組んできた。今年度も継続していきたい。
- 体育大会での親子種目
低・中・高学年ごとに親子競技を実施している。競技内容を児童自ら考え、体育大会本番での競技準備も児童が行っている。児童同士の協力や親子での協力といった活動が期待できる。

令和5年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立萩野小学校

あきらめずにがんばり抜く児童の育成

<体育の授業について>

- 領域や内容に応じて、めあてのもたせ方を工夫し、めあてに向かって運動したり振り返りをしたりすることで、意欲の向上を図り、達成感をもたせる。
- 全校で体育ファイルを作成し、学習カードをつくり、自分の成長が見えるようにする。
- 水泳や縄跳び運動、持久走では、検定表を活用して、運動意欲を高める。
- 保健領域では適切な時期に授業を行う。授業後も自分自身のからだと心の健康を意識して生活できるよう、養護教諭や家庭と連携を取り、生活習慣チェック等を継続して行っていく。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 業間運動では、週2回マラソンや全校リレー、パワーアップ運動に取り組み、体力の維持・向上を図る。
- マラソンでは音楽を流すことにより、素早く行動したり意欲的に走ったりできるようにする。マラソンカードに走った分の色を塗るようにして、今までの成果を実感し、これからの意欲が高まるようにする。
- 全校リレーでは縦割り班でチームを作り、リレーを行う。全学年で協力してゴールを目指したりタイムを縮めるための作戦を考えたりすることで、体力向上と仲間意識の高まりを目指す。
- 雨天時や外で活動できない時にはパワーアップ運動として、室内で柔軟やボール投げ等の苦手分野を改善する活動を行う。
- 体育的行事では、スローガンや個人目標を設定して挑戦する機会を設定し、やり遂げる喜びを味わえるようにする。また、児童が主体となって取り組めたり、自主的に参加したりできるように工夫する。
- 大休みや昼休みの自由な時間には、外での運動を推奨する。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- 体育的行事では、保護者や地域の方の応援や声かけが児童の励みになるよう、連携しながら取り組む。
- 食生活や睡眠時間、ゲーム時間などの生活習慣について考える機会を設け、心身ともに健康で安全な生活ができるよう支援する。（養護教諭との連携、委員会の発表等）
- コロナ禍での運動不足を解消するために、週2回の業間運動を確保することに加え、委員会で楽しく運動できる活動を企画し、実施する。